



令和6年度まで

～施設の現状と課題～

★青少年教育に関する
モデル的事業の推進



★コロナ禍以降、学校団体の
施設利用に対する
ニーズの多様化

★発達段階に応じた学びをつな
げる環境教育プログラムの開発

教科等と関連付けた環境教育
プログラムの開発及び
研修支援の充実

令和7～9年度

社会教育活動普及奨励助成事業

★令和7年度
教育事業の実践や教科と関連付
けた環境教育プログラムの開発

★令和8年度
研修支援における試行的実践や
プログラムのブラッシュアップ

★令和9年度
多様な主体と連携・協働する
プログラムの開発及び実践

施設のブランディング

①体験活動や交流活動を取り
入れた環境教育の推進

②学校だけでなく様々な団体
が共に学び合う機会の提供

③地域の機関や企業、社会教育
施設、NPO等と連携した学び
の創造



圏域におけるESD活動を
推進する拠点施設としての
教育機能向上